

Monthly News

No.153

令和3年度 近畿部会第158回例会

■テーマ “もうひとつの地域資料” 経典・^{しょうぎょう}聖教を活かす
—寺院史料の調査・保全の意義と可能性—

■と き 令和3年(2021)9月11日(土曜日)
13時30分~16時45分

■方 法 Zoo ミーティングを利用したオンライン開催

■登壇者

講演 横内 裕人 氏(京都府立大学文学部教授)
報告1 坂本 亮太 氏(和歌山県立博物館学芸員)
報告2 三宅 徹誠 氏(元興寺文化財研究所研究員)
司会 服部 光真 氏(元興寺文化財研究所研究員)

■内 容

経典・聖教(仏書や仏教関係の文書)は、今や仏教史の特殊な史料ではなく、歴史研究、地域史研究を進めるうえで有効かつ不可欠の史料と認識されつつある。古文書の残されていない地域でも経典・聖教類が残されていることは少なくなく、自治体の中にも市内の全寺院の経典・聖教類の悉皆調査を行うなどの先進的な事例が現れ始めている。

しかしなお全体として経典・聖教類の歴史資料の意義が共有されているとはいいがたく、調査も進められていない状況にあるのが現状である。寺院では聖教類は古文書と相混じる形で保管されているケースも多く、資料群の保管状況の記録保存が重視される近年の古文書調査の際には、経典・聖教の扱いは課題になる。また所有者の間でもその価値が共有されていないゆえに、廃棄されることが少なくないことは古文書と同様の問題をはらんでいる。経典・聖教類の史料的意義と問題意識を共有することは、今後の地域資料保全をめぐる喫緊の課題であるといえる。

本例会では、歴史研究の立場から横内裕人氏に聖教類を含む寺院史料調査の意義と課題についての総括的なご講演、坂本亮太氏と三宅徹誠氏に各地域での『大般若経』などの経典や聖教類の調査の事例のご報告をいただき、経典・聖教類による地域史調査の意義、問題意識を共有したい。

■参加費 無料

※ 参加には、事前のお申し込みが必要です(お申し込み方法詳細は裏面参照)。

■お申し込み方法

- ① 以下の参加フォームよりお申し込みください。
<https://ws.formzu.net/fgen/S81872802/>
- ② 近畿部会事務局までメール (jsai_k@bunmori.tokushima.jp) にてお申し込みください。
メールでのお申し込みの場合は、以下を必ずご記入ください。
 - i) お名前 (フルネーム)
 - ii) 会員 or 非会員 Ex 近畿部会 (機関会員 or 個人会員 or 通信会員)
 - iii) 機関会員・個人会員の方は、総会への出席・欠席をあわせてお知らせください。

■お申し込み締切

令和3年9月7日 (火曜日) まで

■当日スケジュール

◇ 報告

- ・ 13:20～ Zoom エントリー開始
- ・ 13:30～13:35 開 会
- ・ 13:35～14:30 基調講演：横山裕人氏 (京都府立大学文学部教授)
- ・ 14:30～14:40 休 憩
- ・ 14:40～15:15 報 告1：坂本亮太氏 (和歌山県立博物館学芸員)
- ・ 15:15～15:50 報 告2：三宅徹誠氏 (元興寺文化財研究所研究員)
- ・ 15:50～16:05 休憩、質疑集約 ※質疑はチャット機能により随時受付
- ・ 16:05～16:45 質疑応答・討論
- ・ 16:45 終 了

■お申し込み・開催にあたって (お願い)

- ◇ お申し込みフォームでご入力いただいたメールアドレスへ、Zoom の ID とパスコードをお知らせします。
- ◇ 参加受付のために、Zoom にご参加の際はお名前・ご所属を表記ください。
- ◇ ご使用されているネット環境・回線状況により、再ログインが必要になることや、画面がフリーズし、ご視聴いただけない場合もあります。あらかじめご了承ください。
- ◇ オンラインでの開催にあたり、録音・録画、荒らし行為は禁止いたします。
- ◇ 主催者側は、本会の記録・保存のために録画いたします。
- ◇ 参加者は、カメラを OFF、マイクをミュートに設定してください。
- ◇ ご不明な点がありましたら、お問い合わせください。

■お申し込み・お問い合わせ先

全史料協近畿部会事務局 ： 徳島県立文書館
MAIL: jsai_k@bunmori.tokushima.jp
〒770-8070 徳島県徳島市八万町向寺山
TEL : 088-668-3700 FAX : 088-668-7199